

平成22年3月25日

本日（3月25日）、相鉄・JR直通線建設工事の起工式を挙

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・沼野 恵一）では、本日（3月25日）、鉄道・運輸機構（本社・横浜市中区、理事長・石川 裕己）と共催で西谷地区センター（横浜市保土ヶ谷区西谷町918）にて相鉄・JR直通線建設工事の起工式を挙

式典には、松沢神奈川県知事や林横浜市長など約150名の関係者が出席し、起工宣言や鍬入れなどを行いました。

今後は用地取得や建設工事などに着手し、平成27年（2015年）の工事完成に向けて取り組んでまいります。

この路線は、都市鉄道等利便増進法に基づいて整備されるもので、昨年10月に国土交通省より工事施行認可を受け、相鉄本線西谷駅（横浜市保土ヶ谷区）とJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近（横浜市神奈川区）間に新設される約2.7kmの連絡線を、整備主体である鉄道・運輸機構が整備・保有し、営業主体である相鉄がこれを使用してJR線との相互直通運転を行います。今月15日には、横浜市より都市計画決定が告示されるとともに、環境影響評価（アセス）報告書が公告され、実質的な着工の準備が整ったことから起工式を挙

相鉄・JR直通線の概要は別紙のとおりです。



石川理事長（右）と沼野社長による鍬入れの様子

相鉄・JR直通線の概要について

1. 整備区間 相鉄本線西谷駅～JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近
2. 路線距離 約2.7km
3. 事業費 約683億円
4. 開業予定 平成27年(2015年)4月
5. 整備主体 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
6. 営業主 相模鉄道株式会社
7. 運行区間 相鉄線 海老名駅・湘南台駅～西谷駅～羽沢駅(仮称)～JR線 新宿方面
8. 整備効果 例：二俣川駅～新宿駅間 59分 ⇒ 44分 (朝ラッシュ時)
9. 路線図



以上